



インフルエンザ患者報告数が注意報レベルを超えました



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗1,256	516	百日咳	↘0	2
RSウイルス感染症	↘80	104	ヘルパンギーナ	↗5	3
咽頭結膜熱	↘23	31	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗74	70
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗109	103	急性出血性結膜炎	→0	0
感染性胃腸炎	↘696	766	流行性角結膜炎(はやり目)	↘22	27
水痘	↗14	12	細菌性髄膜炎	↘0	1
手足口病	↗7	2	無菌性髄膜炎	↘0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↘97	114	マイコプラズマ肺炎	↘2	10
突発性発しん	↘25	30	クラミジア肺炎	↘0	1
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↘9	10

報告が多い
感染症

インフルエンザ

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

インフルエンザ : 山鹿、菊池

感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、八代、有明

伝染性紅斑 : 菊池、熊本市、宇城、天草、八代

流行性耳下腺炎 : 山鹿

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	366	25	8	36	152	5	1	42	3			13		19						9
山鹿保健所	120				73							8	*	*						
菊池保健所	252	25	10	11	130	5	3	21	3		1	20					1			
阿蘇保健所	12			2	7								*	*						
御船保健所	74				42			1				3	*	*						
八代保健所	30	3		3	82	2		6	3			1								
水俣保健所	34	5	3	2	12			3	2			1	*	*			1			
人吉保健所	77	15		4	23	1		2	2			2	*	*						
有明保健所	158	3		4	95			5	4			10								
宇城保健所	92	3		6	58	1	1	9	2		1	14	*	*						
天草保健所	41	1	2	41	22		2	8	6		3	2		2						
計	1256	80	23	109	696	14	7	97	25	0	5	74	0	22	0	0	2	0	9	

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	1256	7	23	59	64	58	86	95	90	100	80	93	145	27	42	105	77	58	30	8	9
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29						
RSウイルス感染症	80	11	20	32	12	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	23	1	1	9	4	2	2	3	0	0	0	0	1	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	109	0	2	7	4	16	19	9	11	9	5	9	15	0	3						
感染性胃腸炎	696	3	35	113	82	70	49	58	36	39	29	21	93	20	48						
水痘	14	0	0	4	2	1	2	1	1	0	1	1	1	0	0						
手足口病	7	0	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	97	0	0	6	8	6	17	21	16	6	7	4	4	0	2						
突発性発しん	25	1	12	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	5	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	74	0	0	0	5	15	9	9	14	12	3	3	4	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	22	0	1	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	5	1	5	2	0	0
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	9	1	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

インフルエンザ報告数が注意報レベルを超えました

1月25日～1月31日の県内のインフルエンザの報告数は、1,256件となって注意報レベルを超えました。前週1月18日～1月24日の516件に比べ、報告数は2.4倍に急増し、9週連続で報告数は増加しています。保健所別では、山鹿、菊池地域が警報レベルを超え、有明、人吉、宇城、御船、熊本市、水俣が注意報レベルを超えています。今後、患者数が増加することが予想されますので警戒が必要です。

感染性胃腸炎に注意してください

1月25日～1月31日の県内の感染性胃腸炎の報告数は、696件と前週より減少しましたが、依然として注意が必要です。保健所別では、山鹿、菊池、八代地域が警報レベルです。

インフルエンザの予防方法

1. 時間をかけた丁寧な手洗い
流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを洗い流す効果があるといわれています。ただし、洗いやすすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょう。さらに、手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。

2. 咳エチケット
咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみが止まる時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いといわれています。

※熊本県のホームページ
「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましよう」
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html

